

灯台など航路標識の防災対策について

第五管区海上保安本部では、平成25年度航路標識整備事業において、管内の灯台や灯浮標、海上交通センターなどの「航路標識」の改修等を実施します。

本年度も昨年度に引き続き、「東日本大震災からの復興の基本方針（平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定）」の考え方に沿って、航路標識の防災対策を図るほか、安全・安心で効率的な海上交通の実現を図るための事業を重点的に実施します。



沿岸灯台
(市江崎灯台)



防波堤灯台
(阿尾港東防波堤灯台)



灯浮標
〔明石海峡航路中央
第二号灯浮標〕

海上交通センター
(大阪湾海上交通センター)

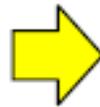


1 航路標識の防災対策

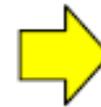
航路標識の耐震補強



▲耐震補強前



▲鉄筋コンクリートを用い建物
及び基礎の補強を実施



下津沖ノ島灯台(実施済)

▲耐震補強後

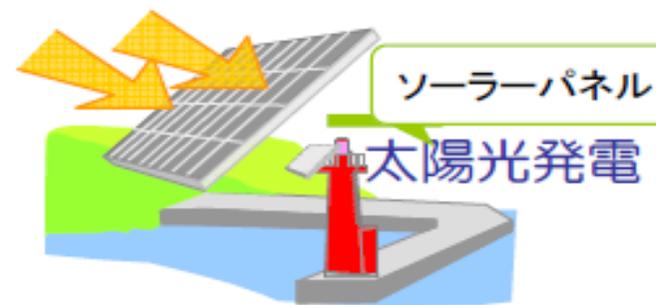
航路標識の耐波浪補強



あしずり港防波堤灯台(実施済)

▲波浪にさらされる基礎部分を補強

航路標識の自立型電源化



▲航路標識の電源を太陽電池に変更
(停電時も運用が可能)

航路標識の防災対策【耐震調査・耐震補強】

建物等の耐震性能調査を実施し、保有耐力の不足が危惧されるものについて補強対策を実施する。



耐震調査(7箇所)

市江崎灯台

(和歌山県西牟婁郡白浜町)

田辺港黒埼導灯

(和歌山県田辺市)

松島灯台

(兵庫県姫路市)

柏島港口灯台

(高知県幡多郡大月町)

白埼灯台

(高知県幡多郡大月町)

神戸信号所

(兵庫県神戸市)

浦戸信号所

(高知県高知市)

耐震補強(1箇所)

大阪湾海上交通センター

(兵庫県淡路市)

耐震調査 7箇所 13,801千円

耐震補強 1箇所 42,280千円

航路標識の防災対策【耐波浪補強】

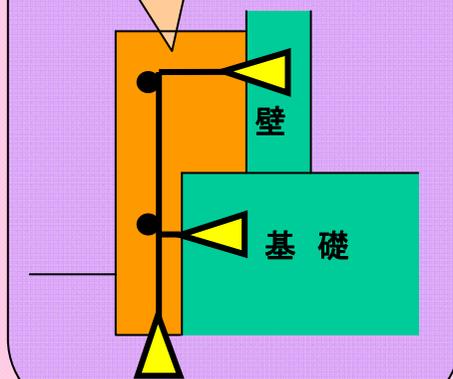
波浪振動により灯塔基礎部に亀裂が生じた結果、灯塔が倒壊した時の基礎部



台風による波浪により倒壊が危惧される太平洋に面した防波堤灯塔について補強対策を実施する。

以布利港沖防波堤灯塔(高知県土佐清水市)
奈半利港西防波堤灯塔(高知県安芸郡奈半利町)

コンクリート増打補強



補強工法の一例

防波堤と灯塔基礎部を
一体化して補強

あしずり港防波堤灯塔
(実施済)



耐波浪補強 2箇所 5,000千円

航路標識の防災対策【自立型電源化】

商用電源を使用している防波堤灯台等について、災害に強い自立型電源（太陽電池）を整備する。（配電線の被災による停電に関係なく標識機能が確保できる。）

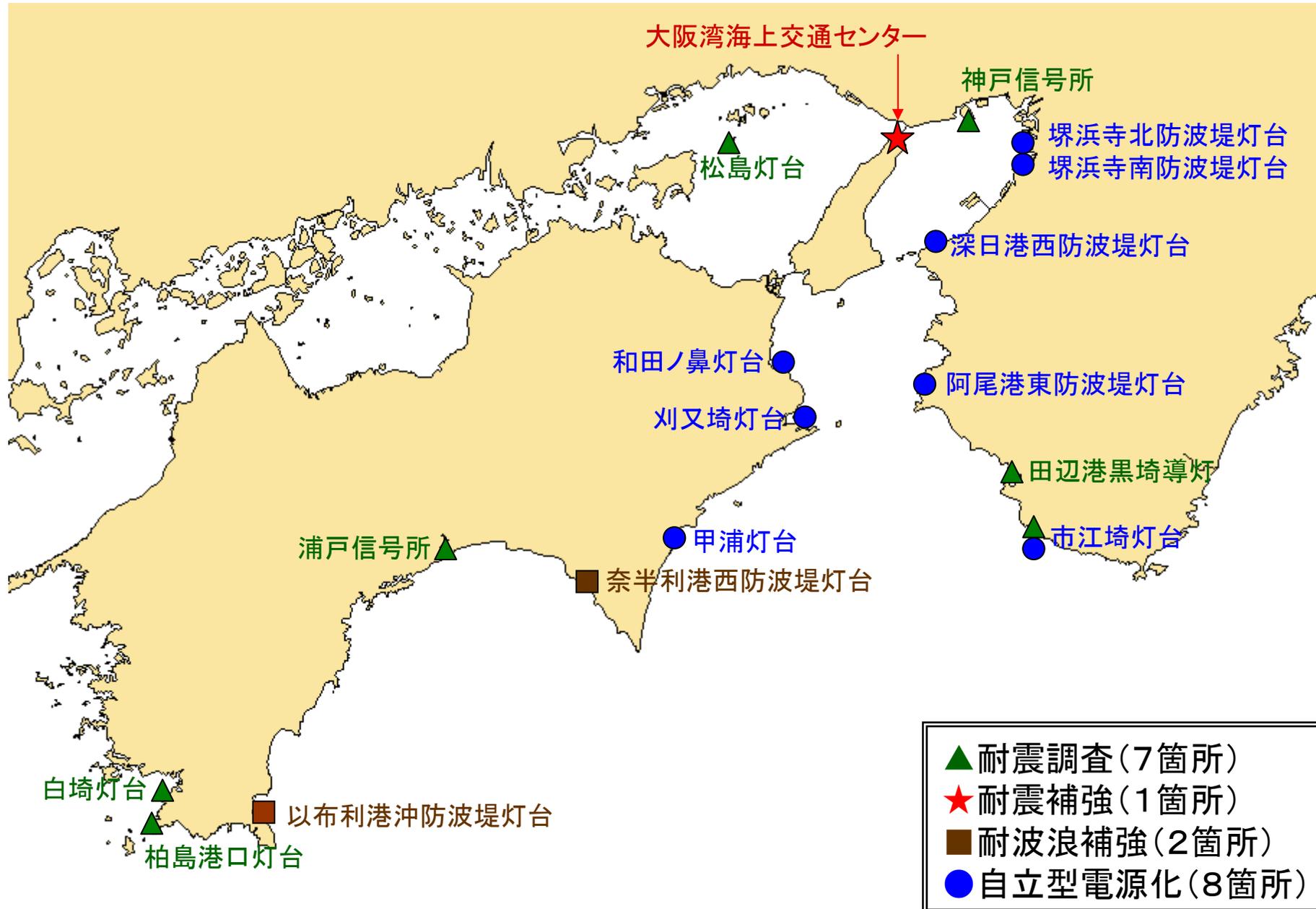
阿尾港東防波堤灯台（和歌山県日高郡日高町）
刈又埼灯台（徳島県阿南市）
甲浦灯台（高知県安芸郡東洋町）
市江埼灯台（和歌山県西牟婁郡白浜町）
深日港西防波堤灯台（大阪府泉南郡岬町）
堺浜寺北防波堤灯台（大阪府堺市）
堺浜寺南防波堤灯台（大阪府堺市）
和田ノ鼻灯台（徳島県小松島市）



自立型電源化 8箇所 72,414千円

航路標識の太陽電池化は、昭和34年周防筏瀬燈標から開始された。

航路標識の防災対策【事業箇所】



2 安全・安心で効率的な海上交通を実現するための事業【施設改修等】

当管区に設置している436箇所の灯台等(灯浮標除く)のうち、22箇所について施設改修等を実施します。



施設改修等 22箇所 258,320千円

安全・安心で効率的な海上交通を実現するための事業【灯浮標交換等】

当管区に設置している172箇所の灯浮標のうち、38箇所について灯浮標の交換等を実施します。

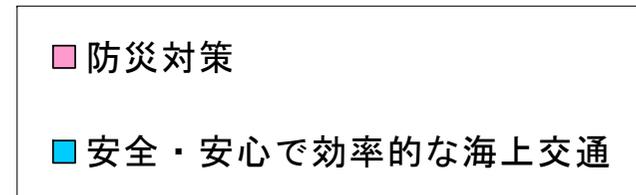
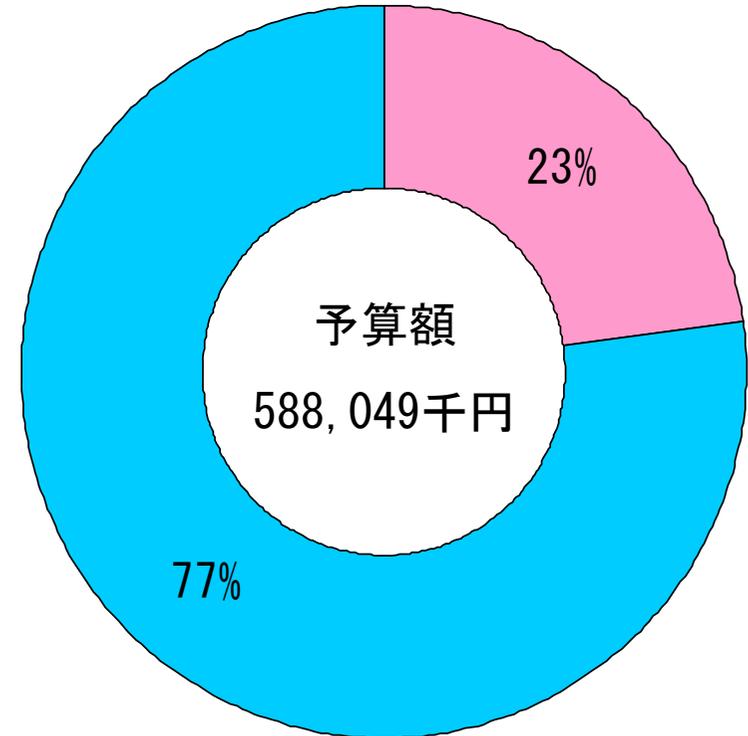


灯浮標交換等 38箇所 196,234千円

事業規模

単位：千円

		箇所	予算額
1	防災対策	18	133,495
	耐震調査	7	13,801
	耐震補強	1	42,280
	耐波浪補強	2	5,000
	自立型電源化	8	72,414
2	安全・安心で効率的な海上交通	60	454,554
合計		78	588,049



※平成24年度補正予算含む